

農地法第3条・4条・5条申請添付書類チェック票
計画者（

)

チェック欄	必要添付書類	3条	4条	5条
<input type="checkbox"/>	許可申請書	○	○	○
<input type="checkbox"/>	許可申請書 別紙2（審査する上で重要な内容となります。詳細に記入をお願いします。）		○	○
<input type="checkbox"/>	住民票（譲受人・譲渡人の住所が村外の場合）	○	○	○
<input type="checkbox"/>	法人登記簿謄本・定款（譲受人が法人の場合）	○	○	○
<input type="checkbox"/>	業種を証明できるもの（業務上必要な施設を計画する場合）		○	○
<input type="checkbox"/>	土地の登記全部事項証明書（登記簿）申請日から3か月以内	○	○	○
<input type="checkbox"/>	同意書（抵当権等設定されている場合）		○	○
<input type="checkbox"/>	土地改良区意見書（土地改良施行地の場合）	○	○	○
<input type="checkbox"/>	耕作証明（譲受人の農地が村外に有る場合）	○		
<input type="checkbox"/>	営農計画書（新規就農の場合）	○		
<input type="checkbox"/>	位置図（住宅地図・見取図等）	○	○	○
<input type="checkbox"/>	公図・地籍図の写し（法務局・税務課で発行）	○	○	○
<input type="checkbox"/>	土地利用計画図（建築施設の配置図、進入路、排水等が生じる場合はその排出経路を示すこと。 <u>※公図に施設の配置を示すのみでは不十分です。現況に合わせて図面の作成を行い、必要な施設を詳細に記載してください。</u> ）		○	○
<input type="checkbox"/>	建築施設の平面図・立面図		○	○
<input type="checkbox"/>	資金調達計画（残高証明書又は通帳の写し（自己資金）・融資証明書（借入金）等）		○	○
<input type="checkbox"/>	被害防除計画書（隣地に被害を与えない計画書）		○	○
<input type="checkbox"/>	隣地承諾書		○	○
<input type="checkbox"/>	水利組合承諾書		○	○
<input type="checkbox"/>	関係法令（墓地埋葬法・宅造法・道路法等）申請の写し		○	○
<input type="checkbox"/>	誓約書		○	○
<input type="checkbox"/>	賃貸借契約書または貸借予約書			○

(別 紙 1)

被害防除計画書

転用事業者名

項 目	対 応
転用地からの土砂の流出、たい積、崩壊に対する防除計画について	
雨水排水・生活雑排水について	
近傍農地の日照・通風について	
その他 (ガス、湧水、粉じん、捨て石、鉱煙等により影響を及ぼすおそれがある場合)	

(別 紙 2)

転用しようとする事由の詳細

転用事業者名

事 由	詳 細
転用の経緯	
選定の経過	
申請地以外の土地で 代替できない理由	
規模の決定	

農地法第5条許可申請にかかる水利組合承諾書

1 申請人

	住 所	氏 名
譲受人		
譲渡人		

2 転用する土地

市町村	大 字	字	地 番	地目	地 積

3 転用の目的

--

上記農地法5条許可申請について、雨水及び家庭用排水として利用しても
異議なく承諾致します。

令和 年 月 日

_____水利組合長

※水利組合がない場合は、区長の承諾が必要です。

農地法第5条許可申請にかかる隣地承諾書

1 申請人

	住 所	氏 名
譲受人		
譲渡人		

2 転用する土地

市町村	大 字	字	地 番	地目	地 積

3 転用の目的

--

上記農地法第5条許可申請について、隣接農地の所有者並びに耕作者として異議なく承諾致します。

令和 年 月 日

土地所有者及び耕作者			隣 接 農 地		
住 所	氏 名	承諾印	所 在	地目	

誓 約 書

下記農地を _____ に転用するため農地法に基づく許可申請をするにあたり、次のとおり誓約いたします。

1. 申請の使用目的以外に使用しません。
2. 申請に記載されたとおり施工します。
3. 隣地及び付近に被害を及ぼしません。
万一隣地に被害を与えた場合は、直ちに損害を賠償します。

記

土地の表示

西栗倉村 _____	_____ m ²
西栗倉村 _____	_____ m ²
西栗倉村 _____	_____ m ²
西栗倉村 _____	_____ m ²
西栗倉村 _____	_____ m ²

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

西栗倉村農業委員会会長 殿

申請人

住 所： _____

氏 名： _____ 印

申請人

住 所： _____

氏 名： _____ 

記入例

農地法第5条の規定による許可申請書

捨印



下記のとおり転用のため農地(採草放牧地)の所有権(①)を移転(②)したいので、農地法第5条第1項の規定により許可を申請します。

令和 年 月 日

西栗倉村農業委員会 殿

貸し借りの場合は①賃借権
②設定と記入

譲受人 栗倉 太郎

譲渡人 岡山 次郎

農業委員会 受付年月日

整理番号

1. 当事者の住所	当事者の別	住所等				年齢	職業	電話番号				
	譲受人等	西栗倉村大字影石1番地				60	農業兼会社員	79-0000				
	譲渡人等	西栗倉村大字影石2番地				80	農業	79-0000				
2. 土地表示等	土地の所在			地番	地目		面積	収量	利用	耕作者	譲渡人が取得した年 及び原因	
	市町村	大字	字		登記簿	現況		(10a当り)	状況	氏名		
	西栗倉村	〇〇	〇〇	〇〇-〇	田	畑	500	-	畑	〇〇		
計 500 m ² (田 m ² 、畑 500 m ² 、採草放牧地 m ²)												
3. 転用計画	(1) 転用しようとする事由の詳細		用途	事由の詳細								
			宅地	別紙2のとおり。(平成〇年〇月農振許可済)								
	(2) 転用の時期及び利用期間		土地造成着手	令和 年 月 日	許		転用期間の別	① 永年 口 一時				
			工事着手	令和 年 月 日	定		事業の操業又は施設の利用期間	令和 年 月 日から				
		工事完成	令和 年 月 日	後		令和 年 月 日まで						
(3) 施設の概要		建物(工作物)の名称	棟数	建築面積	所要面積	建ぺい率						
		居宅(木造2階建)	1	100m ²		150						
		物置(木造平屋建)	1	50m ²		500						
		計	2	150m ²	500m ²	22%以上 %						
4. 転用地の価格等	(1) 転用地の価格(10a当り) 〇 万円				(2) 転用地の賃借料(10a当り) 万円							
5. 資金調達についての計画	土地購入	〇〇 万円	自己資金	〇〇 万円	6. (1) 付近土地、作物、家畜等の被害防除施設の概要 別紙被害防除計画書及びその計画図面のとおり				(2) 隣接地の現況 東 畑 西 畑 南 道 北 水路			
	土地造成	〇〇 万円	借入金	〇〇 万円								
	建物施設	〇〇 万円		万円								
	計	〇〇 万円	計	〇〇 万円								
7. その他参考事項	残高証明、通帳の写し、融資証明等添付				(3) 小作地の場合の解約の有無 ① 有 口 無				(4) 土地改良事業等実施の有無 ① 有 口 無			
8. 添付書類	(1) 転用土地の位置図及び申請地を含めた付近土地の切絵図又は地籍図				(7) その他事業遂行上支障となる権利を有する者がある場合はその権利者の同意書							
(2) 申請地の登記簿謄本(全部事項証明書)				(8) 被害防除計画書及びその計画図面								
(3) 譲受人が法人にあつては法人登記簿謄本及び定款又は寄附行為				(9) 他法令の許可を要する場合には、これを了している書面又はその写し(申請手続き中の場合は、申請書の写し)								
(4) 申請地が小作地の場合は小作人の同意書				(10) 資金調達計画を証する書類								
(5) 土地利用計画図及び建築施設の平面図				(11) その他参考資料								
(6) 申請農地が土地改良区の地区内にある場合は土地改良区の意見書												

この欄は登記簿謄本を見て正確に記入してください。

取得後1年以上でなければ転用不可！！

(別 紙 1)

被害防除計画書 記載例

転用事業者名

項 目	対 応
転用地からの土砂の流出、たい積、崩壊に対する防除計画について	申請地と隣接地の境界部分には、コンクリート擁壁を設置し、盛り土部分の崩壊により、隣接地へ土砂が流出しないよう留意します。
雨水排水・生活雑排水について	申請地への雨水は、擁壁内周に排水路及び沈殿柵を設け、既存排水路に接続します。 申請地の土砂は沈殿柵に流入するようにし、隣接地及び水路に直接流入しないよう留意します。 生活雑排水については、公共下水道に接続し、直接既存の排水路に流入しないよう留意します。
近傍農地の日照・通風について	
その他 (ガス、湧水、粉じん、捨て石、鉱煙等により影響を及ぼすおそれがある場合)	

(別 紙 2)

転用しようとする事由の詳細 記載例(5条)

転用事業者名

事 由	詳 細
転用の経緯 (* 事業をすることになった理由を記入)	<p>(例1) 現在、賃貸アパートに居住していますが、子供が生まれる予定で、4人家族となると現在のアパートでは手狭となり、また親と同居するにも手狭であるため実家近くに住宅を建築することにした。</p> <p>(例2) 現在の墓地が山の中腹にあり、参拝するのが困難となっています。先月夫が亡くなり、自宅近くに墓地を移転することにした。</p> <p>(例3) 建設業を営んでおりますが、事業が好調で現在使用している資材置場(〇〇番地、〇〇番地)が手狭となった為拡張することにした。</p>
選定の経過 (* 申請地を選んだ経過を記入)	<p>(例1) 資金調達のことを考え、父親の所有している土地を使用貸借して経費を抑えて建築したいと計画しました。</p> <p>(例2) 参拝がしやすい場所で、土地所有者と譲渡の話もまとめ、周囲の同意も得ることができたのでこの申請地にしました。また、墓地埋葬法の許可についても環境課と協議をしております。</p> <p>(例3) 現在使用している資材置場の隣接地であり、効率的に利用できる。</p>
申請地以外の土地で代替できない理由 (* 検討した土地を具体的に上げ、出来ない理由を記入)	<p>(例1) 父親の所有地の内、農地以外の地目の土地は、狭小であるため選定からはずしました。農地は3筆ありますが、申請地以外はまとまった圃場内の農地であるため、家を建てることはできないため、この申請地を選びました。</p> <p>(例2) 自己所有地では墓地埋葬法の許可見込みの土地がありませんでした。周囲に公共墓地もないので、申請地の所有者に譲ってもらうことになりました。</p> <p>(例3) 事業所及び既存の資材置場周辺にある適地を当りましたが、〇番地は土地所有者の所在不明で交渉できず、〇番地は持ち主が家を建築予定で譲ってもらえませんでした。</p>
規模の決定 (* 必要な面積の理由を記入)	<p>(例1) 家族4人なので3LDKで居宅建築面積(90㎡)と、普通車を2台所有しているので露天駐車場2台分が必要であり、資金調達の可能な範囲でこの規模にしました。</p> <p>(例2) 墓地埋葬法の許可が受けれる面積〇〇㎡で決定しました。</p> <p>(例3) 土地利用計画図にあるように、〇〇と〇〇を置くスペースとして必要な面積である。</p>